

が く が く
楽学ニュース

【編集・発行】
 特定非営利活動法人
 あだち学習支援ボランティア「楽学の会」
 【事務所】 早坂 津夜子 方
 〒120-0001 足立区大谷田 3-1-15-203
 ホームページ <http://gakugaku.main.jp/>

あだち区民大学塾 8・9 月 開催講座のご案内

区民が学ぶ・教える・創る 平成 27 年度「あだち区民大学塾」募集要項



奈良・京都・江戸歴史検定一級講師と学ぶ
「古代奈良」歴史入門講座
 歩いてみたい

ガイドブックに載っていない「古代奈良」の歴史の面白さを、新視点で紹介しながら、歩いてみたい「古道」を介して学びます。

回	開催日	各回講座テーマ・タイトル
第一回	9/5 (土)	山の道の道 ～ヤマト発祥の地・畿内道跡～
第二回	9/12 (土)	竹内街道 ～ヤマトと河内を結ぶ日本最古の官道～
第三回	9/19 (土)	太子道と阿倍山田道 ～聖徳太子と飛鳥ロマン～

毎週土曜日 午後 2 時～4 時
 共催：NPO 法人あだち学習支援ボランティア「楽学の会」
 足立区生涯学習センター・足立区教育委員会
 ※申込詳細は裏ページをご覧ください。

受付開始日
 8 月 26 日

区民が学ぶ・教える・創る 平成 27 年度「あだち区民大学塾」募集要項

江戸しぐさ
 ～今に生かす江戸の心～

江戸しぐさは、町方のリーダーたちが江戸の町の繁栄と平和の存続、そして人々との共生に知恵を絞って率先して行った行動哲学と書われています。やがて一般町民にも浸透し、なくてはならない江戸っ子のくせになり、「共生の知恵」となりました。
 このしぐさ(思慕)を、現代に生きる私たちの生活の知恵として学びます。

毎週 金曜日 午後 2 時～4 時

回・月日	講座内容・テーマ	講 師
第 1 回 9 月 4 日	江戸しぐさが生まれた背景 ～江戸の町と江戸っ子～	鶴見 泉氏 ・NPO 法人江戸しぐさ事務局局長 ・江戸しぐさ伝承普及員 ・「江戸しぐさ」語り・藤川穂子氏に師事
第 2 回 9 月 11 日	江戸町衆の感性と江戸しぐさの本質	
第 3 回 9 月 18 日	江戸の子育てと「いき」な言葉としぐさ ～その具体例～	

会 場 足立区生涯学習センター(学ビシア21内)
 (足立区千住5-13-5) 5階 研修室4
 受講料 1,500円(全3回分、初日に会場でお支払い下さい)
 定 員 30名(抽選)
 申込方法 任意の日に、住所、氏名(フリガナ)、電話番号
 「江戸しぐさ」と明記し下記へ郵送下さい(速達可)
 申 込 先 〒120-0034 足立区千住5-13-5
 & 足立区生涯学習センター内 あだち区民大学塾事務局
 問合せ先 電話/FAX 03-5613-3759(平日午後1時～5時)
 申込締切 平成 27 年 8 月 21 日(金) 必着
 共 催 NPO 法人あだち学習支援ボランティア「楽学の会」
 足立区生涯学習センター・足立区教育委員会

受付開始日
 8 月 26 日

区民が学ぶ・教える・創る 平成 27 年度「あだち区民大学塾」募集要項

元NHKアナウンサーが **あなたの話し言葉を磨く**

私たちの社会は通信技術の発達で便利になったようですが、意外、人と人とが「話し言葉」で直接伝え合う機会が減ってきてはいませんか。また、「日本語の乱れ」なども心配されています。
 講座では、発声と発音のトレーニングも交えながら、思いや情報が伝わりやすい話し方・聞き方を磨き、美しい日本語を学びます。

毎週 火曜日 午後 2 時～4 時

回・月日	講座内容・テーマ	講 師
第 1 回 10 月 13 日	発声と発音のトレーニング ～生き生きと話すために～	岡部 晃彦氏
第 2 回 10 月 20 日	伝わる話し方・上手な聞き方 ～よりよいコミュニケーションのために～	(一財)NHK放送研修センター ・日本語センター専門委員
第 3 回 10 月 27 日	今、求められる美しい日本語 ～おかしな話し方と書かれたいのために～	

会 場 足立区生涯学習センター(学ビシア21内)
 (足立区千住5-13-5) 5階 研修室1
 受講料 1,500円(全3回分、初日に会場でお支払い下さい)
 定 員 50名(抽選)
 申込方法 任意の日に、住所、氏名(フリガナ)、電話番号
 「日本語」と明記し下記へ郵送下さい(速達可)
 申 込 先 〒120-0034 足立区千住5-13-5
 & 足立区生涯学習センター内 あだち区民大学塾事務局
 問合せ先 電話/FAX 03-5613-3759(平日午後1時～5時)
 申込締切 平成 27 年 9 月 29 日(水) 必着
 共 催 NPO 法人あだち学習支援ボランティア「楽学の会」
 足立区生涯学習センター・足立区教育委員会

区民が学ぶ・教える・創る 平成 27 年度「あだち区民大学塾」募集要項

「俳句」の歴史的変遷と魅力を探る

日本人のここに深く根付いている和歌・連歌・俳諧。そして、それらを受け継ぎ、十七音 珠玉の文芸に結晶させた近代・現代「俳句」。
 この俳句の歴史的変遷を探り「俳句の世界」の持つ奥深さ、楽しさを学びます。

毎週 金曜日 午後 2 時～4 時

回・月日	講座内容・テーマ	講 師
第 1 回 10 月 16 日	俳句の歴史と近代俳句の旗手正岡子規	河原 晴雄氏 歌人、エッセイスト 評論家(日本近代文学を 対象として文化論の視点 からの評論活動、随筆著 書) 足立区在住
第 2 回 10 月 23 日	近世俳諧の変遷～発句と連句と写生文～	
第 3 回 10 月 30 日	近代俳句～子規・蕨村を中心として～	

会 場 足立区生涯学習センター(学ビシア21内)
 (足立区千住5-13-5) 5階 研修室1
 受講料 1,500円(全3回分、初日に会場でお支払い下さい)
 定 員 50名(抽選)
 申込方法 任意の日に、住所、氏名(フリガナ)、電話番号
 「俳句」と明記し下記へ郵送下さい(速達可)
 申 込 先 〒120-0034 足立区千住5-13-5
 & 足立区生涯学習センター内 あだち区民大学塾事務局
 電話/FAX 03-5613-3759(平日午後1時～5時)
 申込締切 平成 27 年 10 月 2 日(金) 必着
 共 催 NPO 法人あだち学習支援ボランティア「楽学の会」
 足立区生涯学習センター・足立区教育委員会

中世古文書を読み解くⅡ —武家文書編—



7月5日・12日・19日（日）午後2時～4時 3回講座

「中世古文書を読み解くⅡ」と題して、講師に高梨真行氏をお迎えして猛暑の最中でしたが受講者は延べ79名が参加した。

第1回目は、鎌倉幕府の中心的な発給文書となった関東御教書、関東下知状について、

第2回目は、足利将軍ないし室町殿が、自身の花押もしくは自書を加える直状形式の御教書、上位の者から送られた文書の意を受けてこれを下位の者に伝えるために出す施行状、守護、守護代が上の命令を下に取り次ぐ

際に発する伝達命令の遵行状、などについて、

第3回目は、前回に続き室町将軍が発給した私文書で、普通の書状であるが公的な意味を持つ御内書、室町幕府の発することが多くなった奉行人連署奉書などについて紹介し、記されている内容からそれぞれの一通の持つ歴史的背景について説明された。

受講生からも、古文書を通して時代背景の説明が面白く、解りやすい講義であるとの好評をいただいた。

（佐久間實）

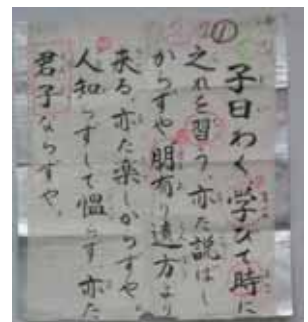
初めての論語 分かる論語 楽しむ論語

梅雨明けをはさんで7月8・15・22日の3回に分けて講座を実施した。天候不順の中、受講申し込み43名、内40名が受講された（3日間述べ107名）。

今回は新しい試みとして「史跡足利学校の論語抄」と須藤先生の著「足利学校論語抄を読む」を教材として、一回目『論語抄』を素読しよう、二回目『論語抄』を理解しよう、三回目『論語抄』を深く読もう、を三回に分けて講義された。

講座の初めに先生が参加者を確認したところ、約3分の1がリピーター、3分の2は新規の受講者だった。主催者としてマンネリ化しないようにと気にしていたところ、ホッとした気持ちにはなった。

論語約500章のうち最初にある「子曰く、学びて時に之を習う、亦説ばしからずや・・・」を何度か強調して説明されていた。講座の締めくくりには「論語抄」の全章を全員が大きな声を上げて素読して終了になった。大きなうねりとなり、心地よい響きになって、自然に論語の奥深い意味も理解できていくような雰囲気を感じた。



<参考> 受講者からのアンケートからの抜粋

- 論語を識りその深さをあらためて感じ入っています。
- みなさんで論語を読み楽しかった。
- 内容ある学習ができて楽しかった。
- 先生の論語に対する熱意が伝わってきた。
- 世界中の人が論語を学ばば戦争は起こらないのではと思った。
- 論語孔子の“人生哲学”心の持ち方、置きどころを学ぶ大切さを教えていただいた。

（鹿島健一）

台東区まちづくり協力員会との交流会報告

6月25日 台東区まちづくり協力員会との交流会が行われました。「お互いに理解を高め、知り合う機会になれば」と、プロジェクトリーダーの長谷川保一氏の司会で、自己紹介、会の設立経緯、会の活動の実績・報告、Q&Aの流れで進められました。

台東区まちづくり協力員会の出発点は、台東区都市計画課で毎年開催している台東区まちづくり「下町塾」の卒業生が中心になり、まちづくりの応援を目的として平成11年5月に設立され、台東区生涯学習センターを中心に活動しています。会員は「下町塾」で勉強したノウハウを活かし、台東区主催の“まちづくり検定”を受講するなど積極的に“人が呼べるまち、人が活性化するまち”を目標に、おかず横町のカルメ焼き体験や、掲示板の位置調査などの様々なまちづくりのための活動をしています。

台東区からは活動に参加してまちづくりを実現させてほしいと、1. 住みたくなる町、2. 散歩したくなる町、3. ショッピングしたくなる町の3本の柱を立てて提案されたことに協力をしているそうです。協力員会では区に「大切な情報を自らの努力で集めています」と報告をしたり、提案をだしています。

その一つとして、観光客が快適にトイレを利用して頂くための“爽やかトイレ”の実現に向けて71か所のトイレのことを纏めて、区に提出しプロジェクトとして「モデルトイレ」2か所の設置が実現致しました。2020年の東京オリンピックは大きな観光資源として区も考えているため、第2プロジェクトとして“おもてなしトイレ”を計画しているそうです。

しかし区が手を放した途端辞めていく人が増え、「下町塾」を受講した若い方を会に抱え込めないため、参加して活動する人が少ないのが現状の悩みでもあるようです。

「楽学の会」の活動も参加された皆さんからお伝えし、講座検討会議での活発な意見交換が交わされる話には、びっくりし、会の性格が違うのでとても勉強になりました、日程が合えば「参加してみたい」と云われました。私達の会員も、台東区まちづくり協力員会が協力しているイベントなどに参加することは可能とのことですから、どのような参加が可能なのかはこれからの課題です。台東区のまち歩きを希望されれば「ガイドは出来ますヨ」とおっしゃって下さいました。今後いろいろな形で交流が出来ればと次回には台東区まちづくり協力員会の方々をお迎えしたいと考えています。

参加者：（敬称略）

台東区まちづくり： 毛塚雅清（会長）長谷川保一・高野謙一
大川正明（プロジェクトリーダー）

「楽学の会」： 田中桂子・安田善英・鈴木良夫・齋藤龍男・金子勝治
（ボランティア活動推進部）



「男ボラ粹生き倶楽部」活動報告

開催：7月12日（日） 会場：NPO法人ぷらちなくらぶ（足立区加平）

「男たちのボランティア」がリニューアルして「男ボラ粹生き倶楽部」となり活動を開始した。

7月は、NPO法人ぷらちなくらぶにて自由に語り合いが行われました。

① 午前の部は「農業と自然・食文化を考える」をテーマに、参加者18名による自己紹介から始まり、各自の参加目的などが語られ、「NPO ナナツホシ」から、農村が抱える後継者不足等々の諸問題の解決のためにはボランティアの応援が不可欠として、その皮切りに“農村体験ツアー”への参加が熱く呼びかけられた。

② 午後の部は「ITで考える障がい者支援」をテーマに、参加者は14名。視覚・聴覚・言語・身体・知的・発達等々、障がいの種類や程度の違いによって対応の仕方が異なり、障がいをもつ人にふさわしいITの活用方法が開発されなければならない。障がいの種類・程度に応じたITの開発には、きめ細かい対応が期待できるボランティアの応援が必要不可欠である。農業においても、そしてITによる障がい者支援においても、ボランティアがこれからの日本の将来を大きく左右すると言っても過言ではないと感じた。



（齋藤龍男）

第5回 荒川コミュニティカレッジ「学園祭」訪問



上記「学園祭」が7月19日、町屋文化センターで開催されました。皆さんもご存じのとおり、過去に何回か生涯学習について、「楽学の会」に実習に来ています。荒川コミュニティカレッジ受講生の、学習成果発表の場としての学園祭であり、子どもさんを含め大勢の区民が来ており、ワークショップなどを楽しんでいました。隣接の荒川区でも、ボランティア活動が盛んに行われていることがよくわかりました。

会場の「町屋文化センター」は、多目的ホール、ふれあい広場、音楽室、会議室（1～4）を持ち、生涯学習・文化活動の場として区民から活用されているが、町屋駅徒歩1分という利便性は大きな強みであると感じた。



（江川武男）

みんなの広場

荒川へ出掛けて見ませんか 今・シーズンの手長エビ釣り

「ほととぎすまだ餌につかめ手長エビ」 江戸川柳

例年、花菖蒲が咲き出す季節に入ると、荒川の虹の広場前や五反野ワンド、千住新橋と西新井橋間の川原の両岸では、最後の脱皮を終えて体の向こう側まで透けて見える体長5～10センチほどの綺麗な手長エビが、いよいよ産卵期に入り梅雨明けまでの釣期を迎えます。

手長エビは昼間に川底の腐葉や石の物陰に隠れてじっと潜んでいます。これを餌でおびき出して釣るのである。手長エビの口は小さいので餌は赤虫やキジを口に入り易ように、3ミリ位に切って針に付ける事からはじめる。仕掛けはごく簡単で玉ウキと針掛かりを良くする為の、程良い重さのオモリを付けるだけ、ウキは水面に浮かべるのではなく、水面より5センチほど沈めて於いた方が小さなアタリでもわかりやすい。手長エビは餌を見つけても決してすぐには食べません。まずハサミで餌を挟んで軽く竿先に当たりがあり（ツーン、ツーン）石や物陰に運び、しばらくはじっと身を潜めています。この段階ではまだ針掛かりはしていないので、引上げるとハサミを離してしまいます。そこで、ひと呼吸おいて、少しずつ引っ張ると餌をとられまいとしてツーン、ツーンと竿を絞り込んでくる。

この時こそがこのエビ釣りの最大の醍醐味と緊張する一瞬である。これを強引に引き上げると餌を離してしまうのでガマン、ガマンの30秒（・・・）息を止めてそっと水面まで相手に気づかれないように、だましながら引き上げて来ると、手長エビは抵抗して更に強くツーン、ツーンと引き込み、ついには口に針掛かりした頃合を見計らって水面から抜き上げる。この息詰まる瞬間こそが手長エビならではの最高の釣趣である。気高き貴婦人をようやく我が手にした瞬間でもある。手長エビは大きくなった雄でもハサミを入れて15センチ程度、唐揚げにして食しても大変美味しい季節の味です。

手長エビの釣期は短いですが家族や子供と一緒に楽しく遊べる荒川へ出掛けて見ませんか。水辺で魚や昆虫、水鳥や野草との触れあいや観察が出来る環境が身近に有る事もうれしいことですね。



（金子勝治）

7月 月例会・暑気払い報告 (7月16日)

今年も、暑い夏の日差しが続く中、レストラン「さくら」で暑気払いが開催されました。

早坂代表理事のご当地言葉で“おぼんです”の挨拶で始まり、行政や生涯学習センターの支援があってこそ事業が成り立っている事、講座の受講者に新しい方の参加者が増えていることは事業の目的として達成されているのではないかと、また新入会員も、事業や他団体との交流会などに積極的に参加して活動していることなどを話されました。



続いて生涯学習センター・平野所長より、韓国の大学教授の方々17名の視察団が来られ、事業や施設についてご説明をいたしました。これは、以前に生涯学習センターで、「韓国語講座」受講生のスキルアップの一環として韓国訪問先であった小学校の校長先生よりの依頼によるものです。このように単に事業を1回で終わるのではなく人と人が“繋がっていく”ことが、私達が事業を行う上で大切なことではないかと挨拶を頂きました。



次に江川常務理事による「乾杯」の音頭で、楽しく歓談に入り、センターの佐々木様、田村



様にもご出席していただき、大いにお互いの親睦を深め、後半のカラオケタイムでも楽しい雰囲気を作っていました。宴なかばでは女性陣を中心に「夏の思い出」をやさしく、男性陣中心には水戸黄門の替え歌「あゝ人生に涙あり」が力強く合唱され、暑さを払い飛ばしました。宴は楽しさの余韻を残しつつ中締めはボランティア活動推進部部長 田中桂子が務めさせていただきました。

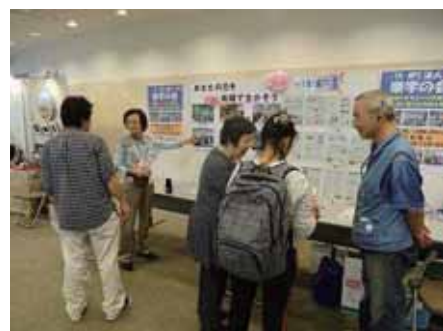
出席者 22名。
(ボランティア活動推進部)

あだちサークルフェア2015準備状況報告

開催日 10月10日(土)・11日(日) 足立区生涯学習センター

- 第1回全体会議開催 (5/2)「あだちサークルフェア2015」の実行委員会役員を選出
委員長：林太一様(東京足立相撲甚句会) 副委員長：湯原敏子様(フラサークル ホアピリ・舞台部門担当) 副委員長：田中桂子様(NPO法人 楽学の会・展示部門担当) 会計：鈴木信一様(U.C・友遊会) 会計監査：高橋きみゑ様(新舞踊 高橋教室)の方々が役員に決まりました。
- 第1回役員会議 (6/27) がありました。
 - ① 展示場所配置と舞台出番表の確認(楽学の会は前回と同じ場所になる予定)
 - ② プログラム掲載広告枠確認(予定枠不足への対応策確認、空があるので協力をお願いします)
 - ③ 「学びピア21」開設15周年記念イベントとして(「15周年」の冠をつける)
 - ④ 広報活動について(ポスターは竹ノ塚駅に7日間掲載できる)など話し合われました。

(田中桂子)



(2014年度開催 風景)

あだち NPO フェスティバル 2015 情報

開催日 10月4日(日) 足立区役所

○6月20日 第1回企画会議がありました。

昨年は53団体が出展し930人が来場されました。

今年度の取り組みについては、(来場者目標1,000人超え)

- ① 想定している出展内容(どのような目的、どのような内容)・
- ② 想定している出展形態(体験、販売、展示、ステージなど)
- ③ 出展団体が連携して出展するとすれば(コミュニティーカフェ、親子体験、ステージ企画など)

準備段階ですが、今年は、親子で参加・体験コーナー、コミュニティーカフェコーナー、健康づくりコーナー、自然体験コーナー、乳児スペース、体験ブース、販売ブース、展示ブース、ステージ・・・等が予定されています。

「楽学の会」は当日の展示のみに参加を予定しています。

○7月18日 第2回企画会議がありました。

当日は参加21団体23名が参加して、フェスティバル全体の進捗情報の共有を行いました。

① イベント全体タイムスケジュール 開催日 2015年10月4日(日) 11時～15時30分

・オープニング 11:00～ ・第九サプライズ 12:00～ ・第九を歌おう in あだち(本番) 15:00～

② 区庁舎 会場図レイアウト(各コーナーの進捗共有)

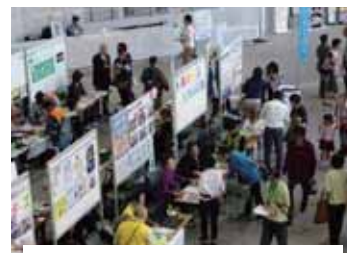
▽ 1階アトリウム: ・コミュニティーコーナー ・健康づくりコーナー ・自然体験コーナー ・体験コーナー ・販売ブース

▽ 2階ホワイエ・庁舎ホール: ・あそび基地 ・展示ブース ・昔遊びコーナー

③ スタンプラリー&福引、当日の集客方法について、第九サプライズ練習日、ほかグループ討議されました。



2015年度「チラシ」



2014年度 「会場風景」



第2回 「企画会議風景」

(田中 桂子)

「社会教育」記事紹介

◆6月号 当会顧問・瀬沼克彰氏寄稿

「生涯学習振興法 25年間を振り返る」

～これからの課題はどこにあるか

との記事が掲載されています。是非ご覧ください。

「社会教育」は大学塾事務局のロッカーに保管してあります。



◆7月号の特集「社会を支える仕組みとしてのサポーター」

当会顧問の藺田碩哉氏 と大久保邦子氏が寄稿されています。是非ご覧ください。「社会教育」は大学塾事務局のロッカーに保管してあります。



藺田碩哉氏寄稿: サポーターの時代「支え合う社会」への展望

大久保邦子氏寄稿: 震災復興における「文化の力」とは

～仙台市の震災復興にみるサポーター力

1. 代表挨拶：報告および提案

6月の月例会に際しては、浅見課長様、平野所長様から、地域の社会教育、生涯学習の在り方について、学校教育も含めた幅広い視点でお話いただき、会員にとって貴重な研修の場になったのではないかと思います。昨年5月、「区長と区政を語り合う会」で区長に申し入れをさせて頂きました件が、昨年12月から委嘱された有識者による「社会教育委員会」で検討されています。第14期になりますが、所管は教育委員会青少年課です。諮問事項は「足立区の社会教育及び生涯学習の方向性について」という、区長への申し入れに合致したテーマになっています。議事録に寄りますと、委員会では幅広い検討項目で話し合われているようです。

これからも様々な機会をとらえて、活動に必要な学習の場を企画に組み込んでいければと思います。

2. 議題

(1) 情報交換

- ・NPO フェスティバル 2015 企画会議開催、10月4日(日)
- ・サークルフェア ブースの配置決定、広告を掲載する(費用5,000円)
- ・「男ボラ粋生き倶楽部」 今までの「男たちのボランティア」が名称変更、6/27 みんなの企画ミーティング 済、7/12 NPO 法人「ぷらちなくらぶ」主催イベント
- ・「台東区まちづくり協力員会」との交流会 後日報告
- ・6/30、区民参画推進課・井関係長より(あだち皆援隊事業に関する件)「あだち皆援隊」事業のちらしを当講座で配布してほしい旨の依頼があった。
7月開催「あだち区民大学塾」2講座で配布する旨了承。

(2) 月例会開催について

- ・7月月例会 7/16(木) 暑気払い、於「さくら」 6:00～

(3) NPO 法人届出関係

- ・年次報告書、東京都へ提出済 法務局は届出不要
- ・27年度役員変更届け、7/2に提出(郵送)予定

(4) あだち区民大学塾(検討会議・企画会議・地域協働講座)

- ・「北辰一刀流」 終了 応募者47名 受講者35名 礼状7/2
- ・「口腔ケア」 終了 応募者24名 受講者23名 礼状7/2
- ・「中世古文書」 7月開催 依頼状発送6/4 応募者31名
- ・「初めての論語」7月開催 依頼状発送6/4 応募者40名
- ・「家族で論語」 8月開催 依頼状発送7/2 応募者 1名

(5) 受託事業について

- ・「相続が気になる方の非課税枠贈与のススメ」5/29センターへ提出 11月中旬開催予定
- ・「仮称ビッグデータ」再打合せ中、
- ・「仮称生理学・・・」企画案作成中

(6) 各部局・PTからの報告および提案(省略)

(7) その他(省略)

「本の紹介」

生涯学習まちづくりの人材育成 ～人こそ最大の地域資源である！～

著者 瀬沼 克彰 著

発行所 (株)日本地域社会研究所

リーダーや支援者に限定して人材育成の必要性、人材育成の主体、学習団体の活性化、先進事例にみる活性化方策、人材育成の課題など5つの視点で、まとめられた事項が表現されている。第1章 地域の人材育成の必要性 第2章 先進事例にみる地域人材育成 第3章 地域にみる学習団体の活性化 第4章 地域の人材育成の主体 第5章 地域の人材区政の課題 これらがそれぞれの地域で、頑張っている学習や地域活動のリーダーが活度を進めていくのに、少しでも役立って貰えたらと願っている。



生涯学習センター 講演会 運営ボランティア募集中

◎ NHK 関連文化講演会 特別展「生命大躍進」講演会

日 時：9月5日（土曜日）

午後2時～3時30分

講演者：富田 幸光氏

（国立科学博物館 名誉研究員）

会 場：生涯学習センター 4階 講堂

定 員：198名

募集人員：7名程度（会場・講演者接待・受付
・司会・記録等）

集 合：午後0時30分（講堂）

開 場：午後1時30分

運営ボランティア募集

◎申込先：メール 齋藤（ボラ活部）

t3436s@yahoo.co.jp

FAX：03-5813-3759（事務局）掲示板表示

生涯学習センター 講座情報

◎ 講座名：学びピアコンサート 「昼下がりのハーブの調べ」

日 時：平成27年9月12日（土）

午後2時～3時30分

場 所：生涯学習センター 4階 講堂

受講料：1,000円（一律）

定 員：190名（申込先着順）

対 象：16歳以上の方

内 容：グランドハーブをメインにヴァイオリンとチェロの女性3人の演奏でお届けする昼下がりのコンサートです。クラシックからポップスまで優しいハーブの調べで心地よいひとときをお過ごし下さい。

出 演：山浦 文友香（ハーブ）・島津 由美（チェロ）・小寺 里枝（ヴァイオリン）

申し込みは、生涯学習センターへ
電話（03-5813-3730）または直接窓口へ

9月「月例会」のご案内

9月の月例会は、次の通りです。

よろしくお願ひします。

◎日 時 9月16日（水）午後3時半～5時半

◎場 所 生涯学習センター
5階 研修室3

◎テーマ 「地球環境について」

◎講 師 小林 徹氏（当会会員）
会員の積極的な参加を

お待ちしております。

（ボランティア活動推進部） 木槿（むくげ）



楽学インフォメーション ★会合のお知らせ★

◎ 運営委員会

8月3日（月）午後3時～5時 研修室4

9月1日（火）午後3時～5時 研修室4

◎ 月例会

8月 休会

9月16日（水）午後3時半～5時半 研修室3

◎ 学習支援部

8月 休会

9月9日（水）午後2時～4時 ワークルーム

◎ ボランティア活動推進部

8月 休会

9月8日（火）午後2時～4時 ワークルーム

◎ 広報部

8月28日（金）午後2時～4時 ワークルーム

9月8日（火）午後2時～4時 メール会議

9月24日（木）午後2時～4時 ワークルーム

9月28日（月）午後2時～4時 ワークルーム

◎ 事務局

8月4日（火）午後2時半～4時半ニュース放送

8月11日（火）午後2時半～4時半ワークルーム

9月8日（火）午後2時半～4時半ワークルーム

◎ 大学塾講座検討会議

8月 休会

9月16日（水）午後2時～3時半 研修室3

◎ 大学塾講座企画会議

8月3日（月）午後1時半～3時 研修室4

9月1日（火）午後1時半～3時 研修室4

◎ 生涯学習センター 休館日

8月10日（月）・9月14日（月）

★お問い合わせ＆ご意見等

◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ

事務局 江川武男 電話：090-3105-8140

E-Mail：takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp

◎ 「ホームページ」に関するお問合せ

広報部 神戸 明 電話：03-3606-0058

E-Mail：a-kambe@adachi.ne.jp

ホームページグループからのお知らせ

「Win10への誘いは無視すべし」

皆さんのPCにも『Windows10にアップグレードできるかチェックします』とか『予約すれば無償でWin10にアップできます』などの通知が届いていると思います。結論的には《OSのアップはするな、その先は地獄だ》誘いは無視してください。暫くするとWin10のパッケージ版が発売されます。その時新しいPCで導入しましょう。「広報部」